

# 清水町の子ともたち



清水町教育委員会は、授業力向上委員会を設置し、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査（以下学学調査といいます。）について、清水町の子ともたちの傾向を分析しました。その結果についてお知らせします。

まずは、この調査の目的を御理解ください。

学力・学習状況調査の目的

## 教育施策の効果を検証する

- ・国や自治体が行っている教育施策について効果や改善点を分析し、よりよい教育環境を整える資料とします。

## 学習指導要領の定着を検証する

- ・学校教育で身に付ける学力の定着を検証し、子どもが主体的に学び、学力を身に付ける授業づくりの資料とします。

## 地域・学校・家庭の連携を図る

- ・地域や家庭での子どもの様子や、学力との関連性を分析し、三者が協力して子どもの教育に当たる体制づくりの資料とします。

この目的を達成するため、学学調査は学力調査、児童・生徒質問紙調査、学校質問紙調査の3つの調査を行いました。国と県・町教育委員会及び学校には、それぞれの調査を関連付けて多面的に子どもの学力や生活の様子を分析することが求められています。本紙では、主に学力調査と児童・生徒質問紙調査の結果をもとにした清水町の子どもの学習と生活の状況についてお知らせします。

清水町の全体の傾向

- 朝食をしっかり食べてくる子どもがほとんどです。一方で起床、就寝時刻が遅い子どもも見られます。生活リズム全般をお子さんと見直してみてください。
- やりがいや達成感、自分の夢やめあてをもって生活している子どもが多いです。
- 学校で友達に会うのが楽しい、好きな授業がある、学級みんなでやり遂げることがうれしいなどの項目の評価が高く、学校生活が充実している様子が伝わってきます。
- 学校のきまりを守る、友達との約束を守る、困っている人を助けるなどの規範意識や道徳性を大切にしている子どもが多いです。
- ドリル学習など繰り返し練習によって身に付く学力に比べ、考えをまとめたり整理したりする学力の定着に課題が見られます。
- 宿題への熱心な取組が見られる一方、予習や復習など自分で計画して学習することへの意欲に課題が見られます。
- 世の中の出来事をパソコンや携帯電話などで知る子どもが増えています。情報通信機器の正しい利用について家庭や地域の力がますます重要になります。